

## 第3回 イノベーション政策強化推進のための有識者会議「バイオ戦略」

1. 日時：令和元年（2019）5月30日（木）14:00～15:00

2. 場所：中央合同庁舎4号館 共用第1特別会議室

### 3. 出席者

（バイオ戦略有識者会議有識者）

座長 永山 治 一般財団法人バイオインダストリー協会代表理事理事長、中外製薬株式会社代表取締役会長  
小林 憲明 キリンホールディングス株式会社取締役常務執行役員  
藤田 朋宏 株式会社ちとせ研究所代表取締役CEO  
吉澤 尚 弁護士法人漆間総合法律事務所副所長、弁護士・弁理士

（政府関係者）

和泉 洋人 イノベーション推進室長 内閣総理大臣補佐官  
幸田 徳之 イノベーション推進室長代理 内閣府審議官  
赤石 浩一 イノベーション推進室次長 内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）  
中川 健朗 イノベーション推進室審議官 内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）  
松尾 浩道 イノベーション推進室審議官 内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）  
大坪 寛子 イノベーション推進室審議官 内閣官房健康・医療戦略室次長  
神成 淳司 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室室長代理  
川嶋 貴樹 内閣府知的財産戦略推進事務局次長  
佐々木 亨 内閣府総合海洋政策推進事務局 参事官  
森田 剛史 消費者庁食品表示企画課保健表示室 室長  
磯谷 桂介 文部科学省研究振興局長  
佐原 康之 厚生労働省大臣官房審議官  
青山 豊久 農林水産省農林水産技術会議事務局 研究総務官  
上村 昌博 経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課 課長  
上田 健二 環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室 室長

### 4. 議題

（1）バイオ戦略に盛り込むべき事項について

### 5. 公開資料

資料1 バイオ戦略2019の方向性（有識者会議提言）

参考資料1 バイオ戦略タスクフォース「バイオ戦略2019（盛り込むべき事項）」

### 6. 議事要旨

（1）バイオ戦略に盛り込むべき事項について【非公開】

バイオ戦略に盛り込むべき事項について、有識者および事務局より説明があり、その後、有識者より以下のとおり意見があった。

バイオを産業化するという点において、成果が出るまでに大変時間がかかるため、2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現するという全体目標は適切。

国際市場を狙える事業化ができる仕組みを作ること、海外と連携して日本の研究等の価値を上げること、その結果、海外からの投資を呼び込めるようになること、この3つの視点が大事。

特にバイオ、デジタルの技術の発展は非常に早いので、戦略の定期的な見直しや改訂が必要。

デジタルイノベーション促進のためには、健康領域において、健常、未病、治療領域、これらをシームレスにつなぐことが必要であり、それを実行計画に落とし込んでいただきたい。

バイオエコノミー市場を作るといふことにおいては、幼少期からの教育が必要。そういう意味で、意識改革も含めた教育プログラムを是非実行に移していただきたい。

新しいバイオ関連産業の創出に関しては、例えば食品と医療の間、各省庁が担当する産業と産業の間等、異なる分野の間に生まれるということを意識して進めていくことが大事。

戦略の具体化において、最初は国の予算で行うとしても、最終的には民間企業が主体的に行わないと事業にはならない。そういう意味で、今後省庁と民間の在り方として何か戦略に織り込めるようなことが議論できれば良いのでは。

世界貢献していくための施策として打ち出していることを説明できるように、世界保健機構（WHO）、国際連合食糧農業機関（FAO）、各種国際団体等のフレームワークを適宜参照し、政策をこの文脈に合わせ日本の対応を海外に情報発信していくことを心がけていただきたい。また、コホート研究については、International Cohort Conferenceなど中で世界的な連携も議論になっているので、アジアでの日本の優位性を他国に奪われるようなことのないよう迅速な対応をしていただきたい。

創業・投資環境のインキュベーション型ウェット施設において2年おきに75社くらいの候補から25社くらいに絞るセレクションを行っている海外の例がある。インキュベーション型ウェット施設のノウハウとして、そのようなセレクションは重要。

また、そのような施設の中で異分野の研究者が融合することで新しいものが生まれる。それがイノベーションの根幹であるので、是非そのようなコンセプトを念頭に置いて進めてもらいたい。

今回の戦略の中心の一つであるデータ駆動型に関して、どういう目的でどんなデータを作るのかを決めることが大切である。現状散在しているデータやこれから作成するデータを一つのデータ基盤にしていくために、これからも議論していくことが必要。

有識者提言はグランドデザイン。これからバイオ戦略の具体化が進む中で、このグランドデザインに立ち戻っていくようなものとして使っていただければ良いと思っている。

産業側としては、一般財団法人バイオインダストリー協会（JBA）の活動をバイオ戦略の方にできるだけ近づけていくことを検討している。